６　議　　事

学校配置の適正化の今後の進め方について

学校配置の適正化の今後の進め方について

教育委員会事務局

生野区西部地域学校再編整備計画

➢ 基本となる考え方

◆趣旨・目的

・子育て・教育環境の充実を推進するために、各学校が適正な学校・学年の規模で教育活動を実施し、子どもたちが切磋琢磨し、社会性や生き抜く力を身に着けることが必要。
・生野区は、住宅密集地に、特に小規模校が隣接し、単純な統合のみでは将来に渡り持続可能な学校規模を確保していくことができないため、学校再編を進めるための特例的な取り組みを進め、早期の教育環境の改善を実現する。

◆学校再編を進めるための特例的な取組み

大規模再編に伴う児童への配慮

・統合による急激な環境の変化に配慮した教職員配置
・通学路の安全安心

学校・子育て環境の魅力向上

・小中一貫教育などの教育活動の充実
・子育て支援の充実

地域活動の急激な低下を防止

・防災避難施設の確保
・地域の魅力を増加させる跡地活用の検討

☆　児童生徒、地域が感じる再編へのリスクに対応し、円滑な学校再編につなげる。

生野区西部地域小学校　児童数推移（令和２年以降は推計値）

		H27		H28		H29		H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
桃谷中校区	北鶴橋小	110	6	93	6	101	6	111	6	112	6	112	6	111	6	112	6	101	6	97	6	88	6
	鶴橋小	128	6	132	6	137	6	154	6	159	6	161	6	153	6	153	6	146	6	146	6	133	6
	東桃谷小	198	7	200	7	213	8	219	8	220	7	226	9	220	8	207	7	203	7	198	7	192	6
	勝山小	209	7	205	7	215	8	206	7	211	7	214	7	213	7	213	8	204	8	216	8	217	7
大池中校区	御幸森小	110	6	103	6	78	6	86	6	88	6	79	6	88	6	90	6	100	6	90	6	89	6
	中川小	332	11	315	12	325	12	318	12	308	11	282	12	259	10	253	9	221	8	207	7	209	8
	舎利寺小	258	11	242	10	225	9	205	8	191	7	183	6	184	6	189	7	186	7	189	6	182	6
生野中校区	林寺小	87	6	97	6	90	6	90	6	101	6	108	6	110	6	118	6	114	6	107	6	97	6
	生野小	202	8	205	8	191	7	189	6	182	6	190	7	191	6	182	6	177	6	181	6	175	6
	舎利寺小（再掲）	258	11	242	10	225	9	205	8	191	7	183	6	184	6	189	7	186	7	189	6	182	6
	西生野小	125	6	113	6	102	6	105	6	92	6	91	6	98	6	102	6	108	6	111	6	121	6
田島中校区	田島小	210	7	208	7	201	7	196	7	205	7	207	8	194	7	208	7	204	7	200	6	203	7
	生野南小	166	6	158	6	177	6	176	6	180	6	181	6	175	6	180	6	171	6	166	6	173	6

（注１）児童数は特別支援学級児童を含む。

（注２）学級数は特別支援学級を含まない。

全学年単学級

７～11学級

・すべての小学校が単学級の学年を抱えている
・現時点で12小学校中、７校が全学年単学級である

生野区西部地域小学校　学年別・男女別・学級数

【令和元年5月1日現在（速報値）】

		１年			２年			３年			４年			５年			６年		
		男	女	学級数	男	女	学級数	男	女	学級数	男	女	学級数	男	女	学級数	男	女	学級数
桃谷中校区	北鶴橋小	19	9	1	9	11	1	12	12	1	7	9	1	8	7	1	8	8	1
	鶴橋小	10	16	1	16	12	1	11	13	1	13	11	1	19	13	1	8	17	1
	東桃谷小	24	13	2	18	18	1	23	19	1	19	21	1	23	11	1	10	21	1
	勝山小	14	17	1	16	15	1	27	21	2	24	16	1	13	17	1	15	16	1
大池中校区	御幸森小	8	4	1	13	10	1	7	2	1	5	7	1	6	4	1	13	9	1
	中川小	14	22	1	21	24	2	31	33	2	22	26	2	34	16	2	26	39	2
	舎利寺小	14	16	1	12	15	1	17	12	1	16	18	1	14	13	1	20	24	2
生野中校区	林寺小	11	12	1	7	10	1	7	4	1	6	13	1	7	8	1	8	8	1
	生野小	13	23	1	19	10	1	18	12	1	18	17	1	17	11	1	16	8	1
	舎利寺小（再掲）	14	16	1	12	15	1	17	12	1	16	18	1	14	13	1	20	24	2
	西生野小	4	6	1	13	8	1	3	13	1	10	3	1	8	4	1	11	9	1
田島中校区	田島小	11	24	1	17	18	1	13	19	1	13	12	1	23	20	2	16	19	1
	生野南小	12	15	1	10	18	1	22	13	1	17	12	1	19	18	1	9	15	1

（注１）児童数には特別支援学級児童を含む。

（注２）学級数は特別支援学級を含まない。

男女比の差が倍以上

単学級

・男子児童が３名や女子児童が２名の学年が存在する
・１２小学校中、９校が男女比の差が倍以上ある学年がある

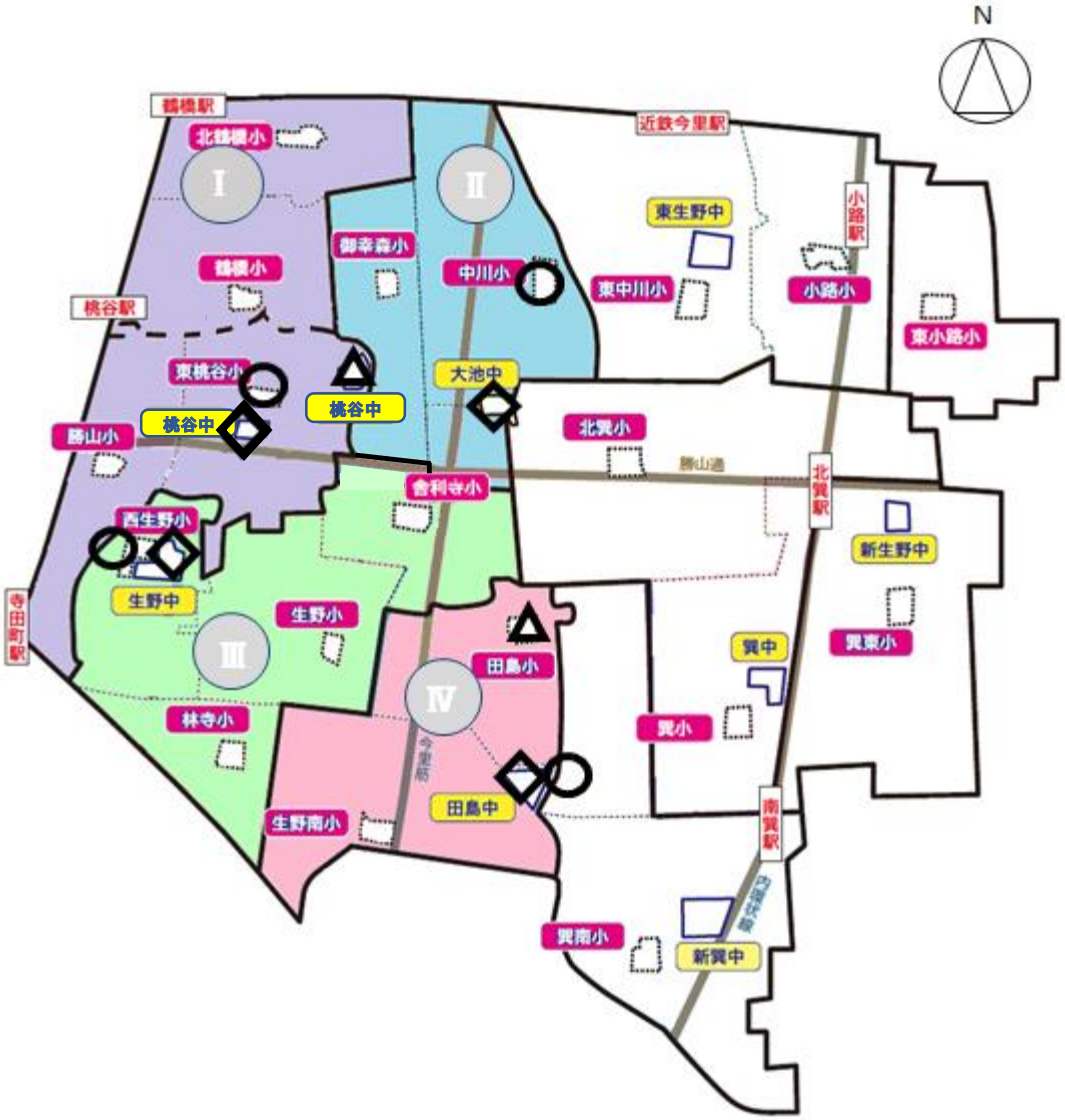
生野区西部地域学校再編整備計画

R1.12.1現在

生野区西部地域学校再編の概要

（ ４中４小 ← ５中１２小 ）

Ⅰ	○ もと東桃谷小	←	北鶴橋小	鶴橋小	東桃谷小	勝山小
	◇ 桃谷中（もと勝山中）＋△もと鶴橋中 当面第2運動場	←	もと鶴橋中		もと勝山中	
Ⅱ	○ もと中川小	←	御幸森小	中川小	舎利寺小（一部）	
	◇ 大池中	←	大池中			
Ⅲ	○ もと西生野小	←	林寺小	生野小	西生野小	舎利寺小（一部）
	◇ 生野中	←	生野中			
Ⅳ	○ 新小（田島中内）＋△もと田島小（第2運動場）	←	田島小	生野南小		
	◇ 田島中	←	田島中			



小規模校（11学級以下の小学校）の利点と課題

利点

- ●学校としてまとまりやすい。
  - ▶ 一人一人に目が行き届きやすい。
- ●一人一人の学習状況を把握し、個別指導を含めたきめ細やかな指導が行いやすい。

課題

- ●教育活動の幅が狭くなる
  - ▶ 音楽の合唱や、体育の集団競技などは困難な場合もある。
- ●互いに切磋琢磨する機会が少なくなる
  - ▶ 運動会でのリレー、ドッジボール等の球技大会などにおいて、クラス対抗ができない。
  - 授業の中で多様な発言が引き出しにくくなる。
- ●クラス替えができないことから、人間関係が固定化する傾向にある。
- ●教職員数も少なくなり、学年運営に関して同学年担当教員による学年共通の指導方法の高め合いができない。

など。

めざすべき目標像

全ての子どもたちが学力を身につけながら健やかに成長し、自立した個人として自己を確立し、他者とともに次代の社会を担うようになることをめざす。そのために、社会が多様化し激しく変化する中で、国際化の進展や未曾有の災害の発生等に立ち向かう「生き抜く力」を備え、未来を切り拓く心豊かな子どもたちをはぐくむようにします。
【H29.3教育振興基本計画より抜粋】

生野区西部地域のこれまでの取組み（区、地域全体）

生野区学校教育フォーラム（平成25年6～7月、12月開催）
生野区小・中学校教育環境再編方針（平成26年3月策定）、
生野区小・中学校教育環境再編方針説明会（平成26年6～7月開催）
これからの教育環境を考えるワークショップ（平成27年2月～8月開催）
生野区西部地域教育特区構想（平成27年7月策定）、同説明会（平成27年9月開催）
生野区西部地域学校再編整備計画（平成28年3月公表）
生野区西部地域学校再編整備計画　説明会（平成28年3～9月開催）
生野の教育（平成29年7月公表）、同説明会（平成29年8月開催）

※　平成２４年以降、各地域代表やPTA役員・各種会合や出前講座などで地域・保護者への説明・意見聴取を継続

生野区西部地域学校再編整備計画の進捗と課題（各中学校区）

	進捗	合意形成の状況と課題	
桃谷中学校区	全学年単学級となる見込みの中学校の統合を優先 もと勝山中学校　207人（6学級） もと鶴橋中学校　106人（4学級） ※平成30年5月1日現在 **平成31年4月開校　285人（9学級）** 4小学校の再編整備計画の策定に向けた学校設置協議会準備会を設置するため各地域での意見交換会を実施	東桃谷小学校　220人（7学級）	
		勝山小学校　211人（7学級）	
		北鶴橋小学校　112人（6学級）	
		鶴橋小学校　159人（6学級）	
大池中学校区	中学校区をまたぐ舎利寺小学校の関係から、生野中学校区の開校に合わせて協議を開始予定 区分②の御幸森小学校と中川小学校の統合を急ぐ必要があり、第１次再編の学校設置協議会を設置 第1回学校設置協議会（平成31年3月8日） ・今後の進め方 第2回学校設置協議会（令和元年7月16日） ・新たな学校の校地：中川小学校 ・開校時期：令和３年4月 第３回学校設置協議会（令和元年10月7日） 第４回学校設置協議会（令和元年11月14日）	御幸森小学校　88人（6学級） ◯	**２小学校での R3.4月再編を協議会決定** （協議会議決◇御幸森・中川の2地域のみ）
		中川小学校　308人（11学級） ◯	
		舎利寺小学校　191人（7学級） （※一部） ×	地域は12小を4小に再編すると地域が寂れてしまうと一旦立ち止まることを主張。 保護者は、地域の姿勢に応じ再編反対。地域の合意は困難と思われることから、行政の決定事項として進める方がよいとの意向。

	進捗	合意形成の状況と課題	
生野中学校区	第1回学校設置協議会準備会（平成29年12月21日） ・準備会の進め方 第2回学校設置協議会準備会（平成30年1月24日） ・学校再編の考え方 第3回学校設置協議会準備会（平成30年2月21日） ・新たな学校の児童・生徒数推移 ・新たな学校の校地 ・開校までのスケジュール 第４回学校設置協議会準備会（平成30年3月22日） ・学校再編前の取組 ・通学路の安全対策 第５回学校設置協議会準備会（平成30年4月18日） ・地域・PTAと連携した学校運営 第6回学校設置協議会準備会（平成30年5月16日） ・学校跡地活用 ・生野中学校区でめざす小中一貫校 第7回学校設置協議会準備会（平成30年7月18日） ・学校設置協議会 ・生涯学習ルーム事業・学校体育施設開放事業 ・他都市の跡地活用事例 学校整備計画案説明会（平成30年9月24日・25日） ・学校再編計画 ・今後の進め方 学校設置協議会の設置に向けて委員選出依頼（10月~） 第1回学校設置協議会（平成30年11月30日） ・新たな学校の校地：西生野小学校 ・開校時期：2022年4月 第2回学校設置協議会（平成31年1月22日） ・今後の進め方 第３回～第11回学校設置協議会 （平成31年3月22日～令和元年11月27日） 校名検討部会・安全対策検討部会を設置	林寺小学校 101人（6学級） ×	学校再編の必要性は理解。 区の対応への不信感から静観の立場。
		生野小学校 182人（6学級） ○	R4.4月再編を協議会決定。（協議会議決◇生野・西生野の2地域のみ）
		西生野小学校 92人（6学級） ○	
		舎利寺小学校 191人（7学級） ×	地域は12小を4小に再編すると地域が寂れてしまうと一旦立ち止まることを主張。 保護者は、地域の姿勢に応じ再編反対。地域の合意は困難と思われることから、行政の決定事項として進める方がよいとの意向。

	進捗	合意形成の状況と課題	
田島中学校区	第1回将来の学校を考える会(平成29年12月19日) ・準備会の進め方 第２回将来の学校を考える会（平成30年１月31日） ・学校再編の考え方 第３回将来の学校を考える会（平成30年２月27日） ・新たな学校の児童・生徒数推移 ・新たな学校の校地 ・開校までのスケジュール 第４回将来の学校を考える会（平成30年３月27日） ・新たな学校の施設 ・通学路の安全対策 第５回将来の学校を考える会（平成30年４月24日） ・地域・ＰＴＡと連携した学校運営 ・小規模校・小中一貫校のメリット・デメリット 第6回将来の学校を考える会（平成30年5月22日） ・学校跡地活用 ・小規模校 第7回将来の学校を考える会（平成30年6月26日） ・学校設置協議会 ・他都市の跡地活用事例 第8回将来の学校を考える会（平成30年7月24日） ・生涯学習ルーム事業、学校体育施設開放事業 学校整備計画案説明会（平成30年9月22日・28日） ・学校再編計画 ・今後の進め方 学校設置協議会の設置に向けて委員選出依頼 （令和元年7月18日、8月9日、9月18日）	田島小学校 205人（7学級） ×	地域は学校がなくなれば地域衰退、地下鉄の延伸（今里筋線）がされなければ再編を認めないとの立場。 保護者は、行政主導で協議会を設置するのであれば参加する意向。
		生野南小学校 180人（6学級） ○	学校設置協議会に参加の意向。

保護者の声

◆通学路や校区の広がりに対する不安の声、学校再編により大規模化することで、児童に対する手厚さがなくなるなど、小規模校のメリットがなくなるといった意見がある一方、以下のような声がある

・単学級は目が届きやすいが複数学級の方が切磋琢磨するので統合には反対しない。
・学級崩壊や学力なども心配であり、一刻も早く適正配置を進めて、１学年１クラスという事態をどうにかしてほしい。
・決まっていない状況では動きにくい。早く決まった方がいい。
・現状の小規模の小学校では、男子、女子の人数が非常に少なくなることがあり、トラブルが起こった時の逃げ道がないので、その面では、学校再編に賛成できる。
・昔から合併の話はでているが、地域の古くからいらっしゃる方々の意見が強くて、実現しないのか、という感じを受けた。
・期間が延びて、またゼロから出発するとなれば、現在の保護者の方がたぶん不安になると思う。区長の言う「生野の教育」が実現できたら、今学校で起こっている深刻な現状も緩和されると思う。
・ＰＴＡの1人として、現に通っているこどもたちのことを考えると、このままずるずる議論が続いていくことが本当に良いことだとは思っていない。
・９つの学校がなくなってこどもがいなくなるという話もあったが、こどもたちがいなくなるのではなくて、こどもたちがより良い公教育をうけられるように、未来のこどもたちのために動いているように思う。

学校長の声

・こどもは指示待ちで、周りの大人が察してやってくれるのに慣れているような印象もある。
・答える子が一定化しやすく、答えを待つ子にとっては、自身の学びを深めることが難しい。
・１つの学年は、理科の実験ではがんばっても3班しか作れない。実験の結果を比較したり話し合ったりすることが難しい。
・たった一人の転入生で、学校がかき回される弱さがある。あまりにもコミュニティが小さく、こどもたちは友だちが少ないので落ち着きのない子でもできるだけ受け止めようとはしているが、狭い人間関係の難しさがある。
・教員が産休等で2～3人休んでいる状態が続いており、校長・教頭・教務主任で６年生を担当している。小規模校で教員が倒れたら、学校が回らない。本来やるべき業務や授業力向上が滞っていく。若手教員の資質向上にまで手が回らない。

学校配置の適正化の今後の進め方について

生野区西部地域の取組みから見える学校再編整備の課題	学校配置の適正化の必要性については理解が進んでいるものの、小規模校同士の統合においては、どの学校の校舎・校地を活用すべきかなどの意見に対して、「誰が決めたのか」という批判が生じやすく、まとまりにくい。 学校再編に向けた話合いの場である学校設置協議会の設置が地域・保護者の自発的な意思に任されていること、役割が共有されていないため、運営について理解が得られにくく、結果として時間を要することとなっている。 学校設置協議会等の話合いの目的が不明確なため、再編を進めるための会議と誤解されている。

課題を解消するために①	学校再編の基本的な枠組みである再編整備計画について、児童生徒の教育環境改善の観点から、学校の設置管理に権限を有する教育委員会が策定し、公表、説明することで、納得性や透明性を確保
課題を解消するために②	学校設置協議会等の所掌事務、委員である地域・保護者など学校関係者の役割などを明確化
課題を解消するために③	児童生徒の教育環境の改善を第一におきながら、円滑に話し合いが進むような基本方針（ルール）の策定

学校配置の適正化のための基本方針の概要

・教育委員会は学校適正配置対象校について、その適正化をはかるため、統合又は校区の変更による学校再編整備計画を策定し、公表する。
・学校再編整備計画には、活用する学校施設及び改修等の計画、学校適正配置の時期、スケジュールなどについて記載する。
・教育委員会は学校再編整備計画を当該学校関係者や地域住民に説明し、意見を聴くため、学校設置協議会等を組織する。
・学校設置協議会等の委員は、校長及び区長の意見を聴いて、教育委員会が任命する。
（保護者、地域住民、学校協議会委員、その他、各学校5名以内の定数、任期は2年）
・学校設置協議会等の所掌事務
（学校再編整備計画への意見、学校名案、校歌及び標準服等の決定、その他意見）　など

現行の協議の進め方

第１段階【合意形成】
・統合協議会において統合に向けた課題等の整理
・保護者説明会の開催

第２段階【最終合意】
・合同の統合協議会等の立ち上げ・協議
・統合時期、今後の進め方等の課題整理・承認

第３段階【統合】
・校名、校歌、校章、通学路の安全対策等の検討・決定

ルール策定後の協議の進め方

第１段階
・教育委員会が学校再編整備計画を策定・公表

第２段階
・学校適正配置検討委員会の設置
・計画に対する委員会の意見を決議

第３段階
・校名、校歌、校章、通学路の安全対策等の検討・決定

児童生徒の教育環境の改善を進める観点から手続きをルール化し、円滑な学校配置の適正化を実現

生野中学校区並びに田島中学校区における学校再編整備計画の策定

両中学校区の先送りにできない状況も踏まえ、学校配置の適正化のための基本方針に基づいて、以下のとおり再編方針を策定。児童生徒の教育環境の改善に向けた学校設置協議会を設置し、地域保護者への参加を求め、話し合いを進める。

生野中学校区の再編

(1) 再編対象とする学校
中学校：生野中学校
小学校：林寺小学校、生野小学校、舎利寺小学校
（生野中学校を進学先とする地域）、
西生野小学校

(2) 新たな学校の設置場所
現在の生野中学校並びに西生野小学校の校地に設置

(3) 新たな学校の開校時期
令和4年4月1日

(4) 新たな学校開設に向けた施設整備
不足教室数の確保等のため校舎を増築

(5) その他
義務教育学校として開校
※大教大との連携を予定

◆ 現学校の取扱い
義務教育学校が新たに設置されることに伴い、再編される中学校及び小学校はすべて閉校とする。

田島中学校区の再編

(1) 再編対象とする学校
田島小学校、生野南小学校

(2) 新たな学校の設置場所
現在の田島中学校の校地に設置

(3) 新たな学校の開校時期
令和4年4月1日

(4) 新たな学校開設に向けた施設整備
不足教室数の確保等のため校舎を増築

(5) その他
施設一体型小中一貫校として開校
※大教大との連携を予定

◆ 現学校の取扱い
再編される小学校はすべて閉校とする。

◆学校の再編整備を契機とした児童生徒の教育環境の改善
◆学校配置の適正化のための基本方針の規定化